

会派代表質問 通告一覧

第1位

市民クラブ代表 佐藤富夫 議員

- 1 財政運営の見直しを問う
- 2 副市長2人制について
- 3 I-T時代への小学校必修プログラミング教育について

第2位

清新会 滝 健一 議員

市政執行における所信の具現策は

第3位

清風・公明 五ノ井惣一郎 議員

市政執行の所信に伺う

第4位

復興クラブ 上田 勉 議員

各種施策の方針を問う



清風・公明代表
五ノ井惣一郎 議員

新市長の目玉政策は何か

Q ①心の復興・地域の推進の取り組みは②「少子高齢化、定住化、交流人口の増加等の施策は③行政改革、地方創生人づくり革命の政策、制度運用の具体的な施策は④消防団の確保、自主防災組織の役割、狭隘な矢本消防署の移転は⑤基幹産業の取り組みは⑥市民力が発揮できる体制整備に伺う⑦赤井東部地区の土地利用に伺う。

A ①被災者支援総合交付金等の活用。着実に成果の見える事業を実施する②空き家等の利活用による若い世代の移住、定住促進。婚活事業。子供の医療費無償化等は活動拠点環境の整備の検討、人材育成を図る③事務事業の不断の見直

し。公共施設の更新、統廃合は人口減少、施設利用者状況を把握し進める④団員確保対策に創意工夫を凝らし展開。自主防災は、研修会の開催、各種防災の支援を図り矢本消防署は早急に検討に入る⑤農商工連携を推進し事業を進める⑥石巻地方拠点都市地域基本計画に位置付け、社会経済情勢を見極め柔軟に対応。



▲狭隘な矢本消防署の移転は



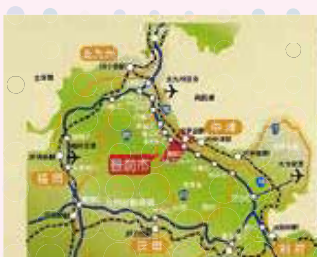
復興クラブ代表
上田 勉 議員

各種施策の具体的な方向性を問う

Q ①HOPEの活用について②基地交付金の利用について③職員交流について④友好都市提携について⑤宮城オールのコース充実について。

A ①企業誘致や創造的復興の一翼を担っており、事業の一つとしてのふるさと納税事業交付金は、昨年の2倍以上の1億3千万円を超えた。「分かる」授業に係る部分では、教育委員会や学校とも調整し事業を推進する。②基地交付金は、前年度比1100万円減額であるが、整備中のパークゴルフ場休憩室の財源は確保した。今後も防衛省、関係機関等への要望活動を継続する。③「心の復興」に必要な

専門職と事務職との交流は、困難が予想される。職員のスキルアップのための交流を視野に入れ体制整備する。④子どもを中心とした市民交流を支援し、必要な友好関係を支援し、その発展により検討する。⑤矢本地区のコースなどについて県と調整する。宿泊施設についても民間活力と誘致を図り、受け入れ環境の充実を図る。



▲福岡県 豊前市



▲豊前市カラス天狗祭り